

<b>科目名</b>	IT&メディアB	<b>科目コード</b>	1546	<b>単位数</b>	2
<b>担当者名</b>	佐藤 千歳	<b>開講セメスター</b>	第2セメスター	<b>開講年次</b>	1年次

● **授業のねらい**

現代社会におけるメディアの役割を理解します。  
最新の新聞やインターネットの記事を用いて、日本はじめ世界のメディアがとりあげる社会や政治の問題を理解し、自分の身の回りの事象と結びつけて実態を調査する手法を身につけます。

● **到達目標**

インターネットを活用して、メディアのとりあげるグローバルな課題を、自分にひきつけて理解できるようになります。  
新旧のメディアの特性や、現代社会の抱える問題を理解したうえで、第三者と公共的な課題を共有するコミュニケーション能力を身につけます。

● **授業内容**

- 1週目 新旧のメディアの特性
- 2週目 メディアにおける「客観性」とは何か？
- 3週目 メディアにかかる様々なバイアス
- 4週目 インターネット情報の特性とリスク
- 5週目 事例：戦争とメディア
- 6週目 事例：移民とメディア
- 7週目 調査学習「問題を描く」：資料を集める

8週目 問題を描く：誰に、なにを聞くか？

9週目 問題を描く：語り手の抱える問題とどう向き合うか。

10週目 問題を描く：温度や臭いまで伝える記録

11週目 問題を描く：伝わる文章を書く

12週目 問題を描く：問題を共有する

13週目 グループディスカッション；問題は十分に問われているか？

14週目 グループワーク：短編ノンフィクションの比較

15週目 発信者の視点から考えるメディアリテラシー：何をとりあげないか

16週目 プレゼンテーションと調査学習の講評。やむを得ず16週までの内容を実施できなかった場合は補講授業

● **準備学習(予習・復習)等の内容**

新聞とインターネットのニュースサイト2種類を選び、ニュースに触れる時間を毎日つくってください。  
予習・復習の時間を確保し、調査学習の準備やまとめの作業を行ってください。授業で作業の進展状況を毎回確認します。  
講義の資料はコースパワー（Course Power）にアップしますので、確認を欠かさないでください。

● **成績評価の方法・基準**

授業中の質問・コメントの頻度と内容（約20%）、プレゼンテーションまたはレポートの内容（約40%）、および調査学習の内容（約40%）を総合して評価します。

● **履修上の留意点/課題に対するフィードバックの方法**

新聞報道についてプレゼンテーションを行い、受講生同士でディスカッションを行います。  
プレゼンテーション、レポート、調査学習は、毎回の内容について、評価できる点と改善点を個別に講評します。

● **テキスト**

野村進『調べる技術・書く技術』（講談社）740円  
本テキストはIT&メディアBと同じテキストを使用します。

● **参考書**

阪井宏著『報道の正義 社会の正義』（花伝社）1836円

● **更新日付**

2019/02/03 06:47